

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： 会津地域森林資源活用事業推進協議会・会津森林活用機構株式会社

上位関連計画にみる地域の将来
 ○パリ協定における日本の目標：2013年度比で2030年までに二酸化炭素排出量26%削減、さらに2050年までに80%削減
 ○2030年に森林資源活用により重油使用を約20億円分の削減
 (新規森林資源からの素材生産量は25万m³/年を目指す)
 ○人口減少比率を最低限にとどめ、地域内流動人口は現在の2倍へ
 ○2030年には地域住民全てが森林資源フル活用事業に何等かの関与をする(老後の安心につながる施策へ)
 ○地域資源の見直しと自覚、資本主義経済に立脚した地域資源の域外販売へ

②具体的なアクション
 ・会津森林活用機構株式会社が森活を推進する。
 ・地域(経済)循環の新しい指標の検討関与者を増やす
 ・市町村ごとに新しい木材ストックヤード、木材加工場の設置へ
 ・主伐再造林のための樹木育苗施設をつくる
 ・市町村と協業にて「熱FIT」仕組みの開発 → 熱供給事業の面展開へ

①目指すべき姿
 ・世界に誇れる里山や森林の観光(景観)資源を創り、あたりまえに地域で維持する姿勢がある
 ・あたりまえにあるきれいな空気、おいしい水、地域食材を観光資源として域外にアピールする
 ・森林が豊かになりクマやシカやイノシシが里に下りてこない
 ・休耕地、ほったらかしの雑木林をなくす。休耕地でも苗木と燃料用早生樹の生産へ
 ・再生可能な森林資源をエネルギー利用している先進地として視察者による流動人口大幅アップ
 ・高齢者全てが地域貢献実感へ(単純に働くということではない)、結果健康寿命を延ばす
 ・世界に誇れる伝統工芸を残す(特用林産(キリやウルシ)の活用を地域が共有)
 ・統一感、特徴のある街並みを増やす
 ・空家、廃校の徹底活用 → 木工所、木材加工工場、ストックヤードへの活用
 ・安心して老後を過ごせる地域へ(水力や森林資源を活かした高齢者エネルギー無料化など)
 ・経済的に「独立国会津」を検討できる程に地方創生を考える地域へ
 ・哲学(姿勢)で地域は変わる・・・を共有したい
 ・樹木育苗施設(2020年で35万本/年を200万本/年にすることを目指す)

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2020年度末)	実績値 (2020年度末)	単位
環境	主伐再造林	樹木苗木生産本数	50,000	350,000		本
	主伐再造林	主伐面積	5	10		ha
	主伐再造林	再造林面積	2	5		ha
	災害対策エネルギー確保	移動可能エネルギーbox数	0	1		箇所
	熱供給事業	グリーン熱証書	0	5		万円
経済	木化・木質化	簡易仮設トイレ筐体木質化	0	5		件
	水力資源	水力発電プレミアム販売分より一部	0	0		万円
社会	人口維持	人口増加率(トップ50市町村) ↑に入っている会津市町村の数	0	0		町村
	過疎地減少	特定過疎地等認定数	7	7		町村

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2020年度末)	目標年度 2030-2050年度	目標値	単位
環境	主伐再造林	樹木苗木生産本数	50,000	350,000	2040	2,000,000	本/y
	主伐再造林	主伐面積	5	10	2030	1,000	ha/y
	主伐再造林	再造林面積	2	5	2030	1,000	ha/y
	災害対策エネルギー確保	移動可能エネルギーbox数	0	1	2030	100	個
	熱供給事業	グリーン熱証書	0	5	2030	1,000	万円
経済	木化・木質化	簡易仮設トイレ筐体木質化	0	5	2030	500	件/y
	独立支援及び継続支援	再生エネ利用熱供給事業者数	0	1	2030	50	社
	水力資源	会津地域水力資源の利用料 ↑この資金で伝統工芸文化の維持、街並み景観の見直しも行う(観光復活) 会津はRE1000(例)も可能	0	0	2030	2,000	億円
社会	人口維持	人口増加率(トップ50市町村) ↑に入っている会津市町村の数	0	0	2050	13	町村
	過疎地減少	特定過疎地等認定数	7	7	2050	0	町村

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

森林資源フル活用事業は地域循環共生圏の基礎となることは関係者で合意している。
 主伐再造林による搬出丸太の量と、地域内での活用の量は短期～長期ともに指標として中心となる。要は合理的に木材が搬出されて活用されていれば地域循環は果たされていると考える。
 水資源も観光資源も、空気も全ては森林から・・・と整理できる。地域生活者にもわかりやすい。
 貨幣価値として森林資源(水力資源含む)が最も高いので、「森林を整備してきれいにすること」が脱炭素の環境、経済循環、社会基盤の全てに効いてくる。